

平成25年度全道ホームヘルプサービス研究大会 開催要綱

主催：北海道ホームヘルプサービス協議会 / 後援：北海道（予定）

1. 趣 旨 平成25年4月より障害者総合支援法が施行され、重度訪問介護の対象者が拡大したことで、訪問介護事業所に求められる役割は大きくなり、障がい者への支援が拡充されます。
また、認知症になった方やそのご家族が安心して地域で暮らすためには、質の高い医療や福祉のサービス、家族や地域の住民が病気を正しく理解し、本人と家族を中心に医療、介護、地域が互いに連携していくことが重要となってきます。
そこで、本研究大会では、ホームヘルプサービス関係者を対象として、障害者総合支援法の影響と今後の課題について考えるとともに、認知症の正しい理解や困難事例へのアプローチの方法等、ホームヘルプサービスに必要な技術と知識の向上を図ることを目的に開催します。

2. と き 平成25年7月8日（月） 13:30～17:00（受付12:30）
平成25年7月9日（火） 9:15～11:50

3. と ころ 北海道自治労会館 大ホール他（札幌市北区北6条西7丁目5-3 Tel 011-747-1457）

4. 参加定員 300名

5. 参加費 ・北海道ホームヘルプサービス協議会会員・準会員 3,000円
・上記以外の方 6,000円
※参加費は当日受付でお支払い願います。

6. 日 程

	12:30	13:30	13:45	14:30	14:40	17:00	17:10	18:00
7月8日 (1日目)	受付	開会	講演Ⅰ	休憩	講演Ⅱ・演習	休憩	総会 (会員のみ)	
	9:15	11:45	11:50					
9日 (2日目)	分科会	閉会						

7. 内 容

〔1日目：7月8日（月）〕

(1) 開会 (13:30～13:45) 開会挨拶

(2) 講演Ⅰ (13:45～14:30) <45分>

「障害者総合支援法とホームヘルプサービスについて」

平成25年4月より障害者自立支援法が障害者総合支援法へと改正され、重度訪問介護の対象者が拡大されました。訪問介護事業所として求められる役割や今後の課題などを学びます。

講師：上田 尚弘 氏（北海道保健福祉部福祉局障がい者保健福祉課長）

(3) 講演Ⅱ・演習 (14:40～17:00) <140分>

「認知症の困難事例への関わり方と事例検討会の手法」

認知症の高齢者の方への支援を行う上で遭遇する対応困難な場面では、日々症状が変わる病気を正しく理解して、対応することが求められます。

そこで、本テーマでは、認知症の理解と実際の困難事例をもとに、どのように対応していったらよいか、多職種との連携や支援のポイント、解決に向けてのアプローチ手法などを学びます。

講師：八森 淳氏（公益社団法人地域医療振興協会 伊東市民病院 臨床研修センター長／伊東市介護老人保健施設みはらし 施設長）

講師：大友 路子氏（株式会社エイチ・ツー・オー総合研究所地域連携推進室 チーフインストラクター 社会福祉士・精神保健福祉士）

【講師紹介】

八森 淳 (はちもり・あつし) 氏

1991年自治医科大学医学部卒業。医師。青森県内のへき地を含む医療機関に県職員として勤務。国保百石病院、百石町保健福祉センターなどを経て2004年4月から現職。NPO地域認知症サポートブリッジ理事。日本認知症ケア学会代議員。日本認知症予防学会評議員。認知症の多職種ネットワークづくり、地域づくりなどを展開。認知症の支援困難事例を地域の多職種で解決する検討会「見える事例検討会」を全国で展開中。

大友 路子 (おおとも・みちこ) 氏

日本女子衛生短期大学卒業、歯科医院で歯科衛生士として勤務。1999年六浦地域ケアプラザに勤務。介護支援専門員を経て2006年より地域包括支援センター社会福祉士として勤務、2012年より現職。現在横浜市上笹下地域ケアプラザ非常勤職員、神奈川県社会福祉士会ばあととなあ会員、成年後見人受任、東日本大震災被災者専門サポート事業専門相談員として活動。

〔2日目：7月9日（火）〕

(4) 分科会 (9:15~11:45) <150分>

○第1分科会 (講義・演習) 「利用者さん元気アップ!! 訪問介護の提案・可能性!」

みなさん、ホームヘルパーとして、利用者さんの笑顔、すこしでも元気になる姿、見たくありませんか! ホームヘルプサービスの可能性、まだまだまだまだあります!

ここでは、一緒に可能性を発見していくために、在宅において介護をする上での理学療法士からみた視点やポイント、ホームヘルパーとしての関わりについて学びます。

講師：赤羽根 誠氏 (医療法人秀友会 法人理事 在宅部統括部長/理学療法士)

○第2分科会 (講義・演習) 「ストレスと上手に付き合う方法」

ホームヘルパーは利用者さんの一番近くで密な関わりを持つ為、利用者さんからの要求やストレス等により一人で抱え込みがちになることが多く、また、そのストレス等によりバーンアウトや離職につながる場合も少なくありません。

ここでは、ホームヘルパーの心身の健康を保つために、ストレスと上手く付き合う方法について学びます。

講師：福嶋 美奈子氏 (JA北海道厚生連 病院事業推進部 高齢福祉室長)

○第3分科会 (講義・演習)

「上手なコミュニケーションの取り方~認知症を含む高齢者の方とコミュニケーションを上手く取るコツ~」

失語症や認知症をもつ高齢者の方とのコミュニケーションを円滑に進めるため、コミュニケーション障害の起こる原因や観察ポイントなど、ホームヘルパーとしての関わり方等について、学びます。

講師：大澤 真理氏 (医療法人秀友会 在宅リハビリテーション部 言語聴覚士)

(5) 閉会 (11:45~11:50) 各分科会ごとに閉会

8. その他

1日目のプログラムの「講演Ⅱ・演習」終了後、平成25年度北海道ホームヘルプサービス協議会代議員総会を開催します。なお、総会につきましては、別途会員事業所あてに御案内します。

9. 参加申込みについて

別添<参加申込書兼アンケート>に必要事項を御記入の上、**平成25年6月28日(金)【必着】**までに下記あてに、FAXにてお申し込みください。(なお、定員を超えた申し込みがあった場合は、ホームヘルプサービス協議会会員を優先する場合があります。参加をお断りする場合もしくは希望の分科会を変更して頂く必要がある場合のみ、7月2日(火)までに、電話等にて連絡しますので、予め御了承ください。)

北海道ホームヘルプサービス協議会 事務局

〒060-0002 札幌市中央区北2条西7丁目 北海道社会福祉総合センター2階
北海道社会福祉協議会・地域福祉部地域福祉課内 (担当：鈴木・片山)
Tel 011-241-3977 Fax 011-271-3956